

令和6年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
及び地域公共交通計画の評価結果概要

清須市地域公共交通会議 (清須市)

平成18年6月26日設置

令和2年3月23日 清須市地域公共交通計画策定
(計画期間：令和2年4月～令和7年3月)

評価対象の地域公共交通確保維持事業
・地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金

- ・充実した鉄道網・幹線道路網により周辺都市との移動利便性が高い
- ・鉄道・主要道路と庄内川、新川、五条川によって分断され、市街地の道路幅が狭いので、市内の移動利便性が低いという課題を抱えていた

- ・ 鉄道駅までの移動手段
- ・ 高齢者や主婦層等の移動制約者の日中の交通手段

誰もが移動しやすいまち清須

I 既設の鉄道網を生かした
地域公共交通ネットワークの形成

II 地域公共交通を利用しやすい環境整備の推進

III 地域公共交通事業推進のための関係者の連携

➤ 次期地域公共交通計画の策定に向けた市民アンケート調査の実施

次期地域公共交通計画の策定に向け、地域公共交通の現状や課題を把握するため、アンケート調査を行った。

項目	市民アンケート調査	利用者二一ズ調査
目的	・市民の日常生活の移動手段や公共交通に関する意見等を把握する	・市民の移動二一ズや公共交通に対する改善要望等を把握する
対象	20歳以上の市民2,000人 (住民基本台帳から無作為抽出)	あしがるバス利用者 (全ルート全便×3日間)
期間	令和5年11月13日～27日	令和5年11月15日～17日
回収率	46.2% (配布2,000通、回収932通)	84.5% (配布695通、回収587通)

➤ 調査結果

- ・あしがるバスは市民の市内移動の手段として定着してきたものの、一方で市民の多くは鉄道を主に利用しており、鉄道を含めた公共交通の移動利便性向上が求められている。
- ・あしがるバスの改善すべき点として、運行本数の充実、運行時間帯の拡大、キャッシュレス決済の導入など、利便性の向上に対する要望が多かった。

⇒調査結果を踏まえ、**地域公共交通会議に鉄道事業者にも参画していただき、連携を強化しながら次期地域公共交通計画策定に向けた協議を進めている。**

■利用促進事業

実施事業	事業の概要	実施効果
コミュニティバスの一泊無料デー 【令和5年11月11日（日）】	祭の開催日に合わせ、コミュニティバスの運賃を1日無料とする	過去最多であった前年度を23人上回る、444名の利用があった。
コミュニティバスの乗り方教室 【令和5年11月17日、28日】 【令和6年6月7日、9月25日】	小学3年生の児童を対象に、市立小学校で乗り方教室を実施	アンケート調査の結果、95%の児童があしがるバスに乗ってみたいと回答し、利用するきっかけづくりとなった。
五条川さくらまつりでのPR 【令和6年3月30日（土）】	まつり会場にブースを設置し、ミニゲームコーナーやバス車両展示のほか、バス型キーホルダーの販売を実施	主に家族連れの方にミニゲームや車両展示で楽しんでもいただき、あしがるバスへの関心を高めることができた。



○【目標】あしがるバスを核とした移動利便性の向上（補助事業分）

自己評価実施日：令和6年12月23日（月）
[令和6年度第3回清須市地域公共交通会議]

■収支率（地域公共交通計画策定時の目標収支率を維持するよう設定）

目標値	実績値	達成状況
8.9%	9.2%	達成

■利用者数（過去増加率を元に設定）

ルート	項目	目標値	実績値	前年比	コロナ前比 (R1年度比)	達成状況
全 体	年 間	101,100人	87,178人	106.7%	108.5%	未達成
	1便あたり	6.5人	5.4人			未達成
オレンジ	年 間	19,400人	14,780人	100.4%	100.9%	未達成
	1便あたり	4.9人	3.7人			未達成
グリーン	年 間	30,000人	26,732人	101.0%	110.6%	未達成
	1便あたり	7.6人	6.8人			未達成
サクラ	年 間	32,300人	27,499人	106.8%	105.7%	未達成
	1便あたり	8.2人	7.0人			未達成
ブルー	年 間	19,400人	18,167人	123.1%	117.2%	未達成
	1便あたり	4.9人	4.2人			未達成

3.【Check】計画の目標の達成状況とその理由についての考察

＜各ルートの考察＞

オレンジ	季節やバス停により多少の差はあるが、概ね前年度並みの利用者数で推移し、 前年度比100.4%と微増 であった。 コロナ禍前比でも100.9%と上回る実績 が続いているが、 新規利用者の獲得が課題 である。
グリーン	バス停により差があるものの、合計では 前年度比で101.0%とわずかに増加 した。 コロナ前比では110.6%と上回る 水準を維持しているが、 新規利用者の獲得が課題 である。
サクラ	前年度にはコロナ禍前の水準近くまで回復した状況であったが、令和6年度は 前年度比で106.8%と、コロナ禍前を明確に上回る状況 となった。ヨシヅヤなどルートの主要な目的地で主に利用者が増加している。
ブルー	前年度はコロナ禍前の水準に満たなかったが、令和6年度は 前年度比で123.1%と顕著に増加 した。また コロナ禍前比でも117.2%と大幅に上回り 、ダイヤ・ルート改正や利用促進事業などにより 一定の新規利用者がある と考えられる。



- ・総利用者数は、昨年度にコロナ禍前の実績を上回るまで回復していたが、令和6年度は、継続的な利用促進事業の実施により、**前年度に比べ約6.7%増加し、引き続き増加傾向**となった。
- ・利用の増加についてはルートごとにばらつきがあり、今後も新規利用者獲得のため、継続した利用促進事業など、**利用を喚起する施策を検討・実施する必要**がある。

○その他の地域公共交通計画の評価指標（補助対象事業分を除く。）

目標	評価指標	目標値	1 年目 (R2)	2 年目 (R3)	3 年目 (R4)	4 年目 (R5)	5 年目 (R6)
市内観光施設を巡る移動手段の確保	レンタサイクルの利用者数	1 5 0 人	5 1 人 (下半期のみ)	1 5 9 人	2 2 0 人	2 2 7 人	1 5 0 人 (9月末現在)
地域公共交通に関する積極的な情報発信	あしがるバス一日無料デーの参加者数	4 0 0 人程度	新型コロナウィルス感染症の影響により未実施	新型コロナウィルス感染症の影響により未実施	4 2 1 人	4 4 4 人	4 9 8 人



- ・その他の評価指標については、数値は概ね上昇傾向であり、目標値を達成している。
- ・現・地域公共交通計画は令和6年度で計画期間満了を迎えるため、次期地域公共交通計画の策定に向けて、目標・目標値等を検討している。

■ 現状の課題

- ・コロナ禍の影響が解消され、利用者数はコロナ前の水準を全ルートで上回るまで回復した一方で、全ルートで目標値には達していない。
- ・コロナ禍の影響による外出控え等が解消された状況において、新たなニーズを発掘し、利用者を獲得するための施策を実施する必要がある。

■ 対応方針

①次期地域公共交通計画の策定

- ・現地域公共交通計画が令和6年度末で満了することを受け、社会情勢の変化や現計画期間（令和2年度から令和6年度）の課題を分析し、**現状に即した清須市の目指す交通将来像、目標・指標・実施すべき施策を設定するため、次期地域公共交通計画を策定**する。

②あしがるバスのユーザー増加に向けた啓発活動の継続実施

- ・今後も、まつり等のイベントに合わせた一日無料デーやPRブースの設置などの**利用促進に繋がる啓発活動を、実施方法の改善に努めつつ継続的に実施**することで、あしがるバスの利用を喚起し、新規利用者獲得を目指す。

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	乗り方教室については、実施回数だけでなく、どのくらいの方々に理解してもらえたかなどアウトカムにも留意することを期待する。	小学校で乗り方教室を実施するにあたり、実施後にどのくらいの児童がバスに乗ってみたいと思ったかを把握するため、アンケート調査を行った。	乗り方教室等の利用促進事業を実施するにあたっては、適切にアウトカムを把握できるよう留意する。
	次期地域公共交通計画策定に向けたニーズ把握に際しては、紙ベースのアンケート調査に加え、ワークショップなど直接意見等をお聞きする機会を設けることについて検討されることを期待する。	次期地域公共交通計画を策定するにあたり、市民から直接意見を聞く場を設けるため、令和6年7月に、市民意見交換会を実施した。人の集まる地域拠点を核としてまちづくりをすべきなど、意見交換会での主な意見を踏まえて、次期公共交通計画策定に係る協議を進めた。	ニーズ把握を行う際は、アンケート調査に加え、直接市民の意見を把握できるよう留意する。

※前回：令和6年3月21日

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前々回	ルート・ダイヤの改正による利便性向上の周知を引き続き行うに際して、主要な行き先を意識した関係者間の連携を進めていかれることを期待する。	市立小学校のバス乗り方教室や観光協会主催の五条川さくらまつりでのPR等、利用促進イベントの中で改正チラシを配布・紹介し、周知を行った。 また、各施設・駅等に配布したチラシや新しい時刻表は無くなった連絡を受けた際、追加で配布した。	今後も利用促進事業を継続し、利用喚起に注力するとともに、次期地域公共交通計画に向けて、アンケート調査を実施し、市民の移動実態やバス利用者の利用状況・ニーズを把握する。

※前々回：令和5年3月10日

＜年間単位の進捗管理・評価スケジュール＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
協議会		①					②		③			④				
行事等			◎ 確保維持改善 計画申請			◎ 確保維持改善 計画認定		☆ 次年度予算要求			◎ 第三者評価委員会					
PDCA	前年度事業評価に 基づく改善、反映 と前年度交通計画 の取組評価	A・P		次年度計画の検討 P				モニタリング・ 事業評価の実施 C			課題の共有・ 改善検討 A					
						D										
部会	必要に応じて開催															

【協議会の実施状況】

＜令和5年度＞

①第1回協議会	令和5年5月29日	地域公共交通計画に係る取組状況の評価（案）等
②第2回協議会	令和5年10月16日	地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（案）等
③第3回協議会	令和6年3月18日	清須市地域公共交通会議歳入歳出予算（案）等

＜令和6年度＞

①第1回協議会	令和6年6月12日	第2次清須市地域公共交通計画の策定について 等
②第2回協議会	令和6年10月15日	第2次清須市地域公共交通計画（素案）について
③第3回協議会	令和6年12月23日	第2次清須市地域公共交通計画（案）について 等